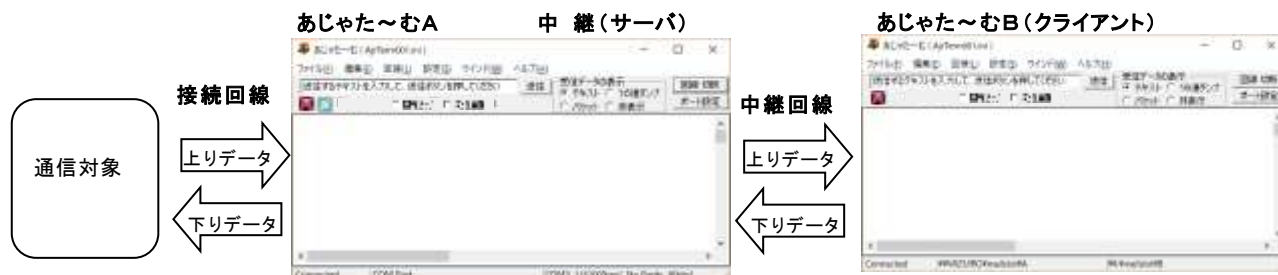


TCP/IP(ソケット)接続により、あじやた〜む間で、回線を中継することができます。

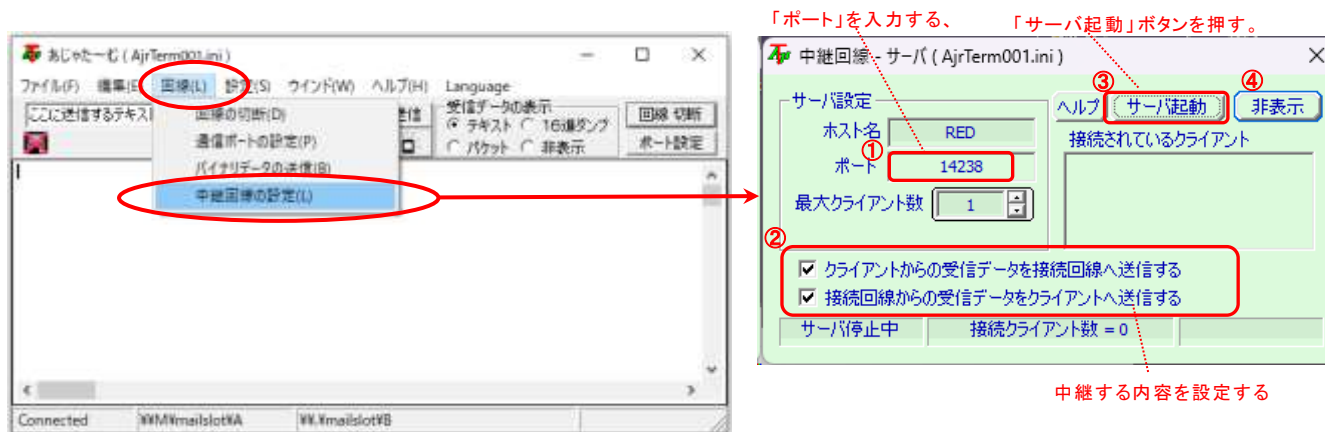
あじやた〜むAが接続回線から受信したデータを、あじやた〜むBに転送したり、あじやた〜むBから受信したデータをあじやた〜むAの接続回線に送信させることができます。

つまり、あじやた〜むBで、あじやた〜むAを遠隔操作することができます。

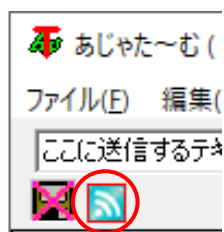


データを中継するには、「回線」メニューから「中継回線の設定」を選択し、以下の手順で設定します。

- 1) 「ポート」番号を設定します。
- 2) 2つのチェックボックスで、中継する内容を設定します。
- 3) 「サーバ起動」ボタンで、ソケットサーバ(IPV4)を起動します。(ボタンフェースが「サーバ停止」に変わります)
- 4) 「非表示」ボタンを押すと、ウインドを非表示にします。(中継回線の接続状態は維持されます)



※中継回線(サーバ)が起動すると、メインウインドに  が表示されます。

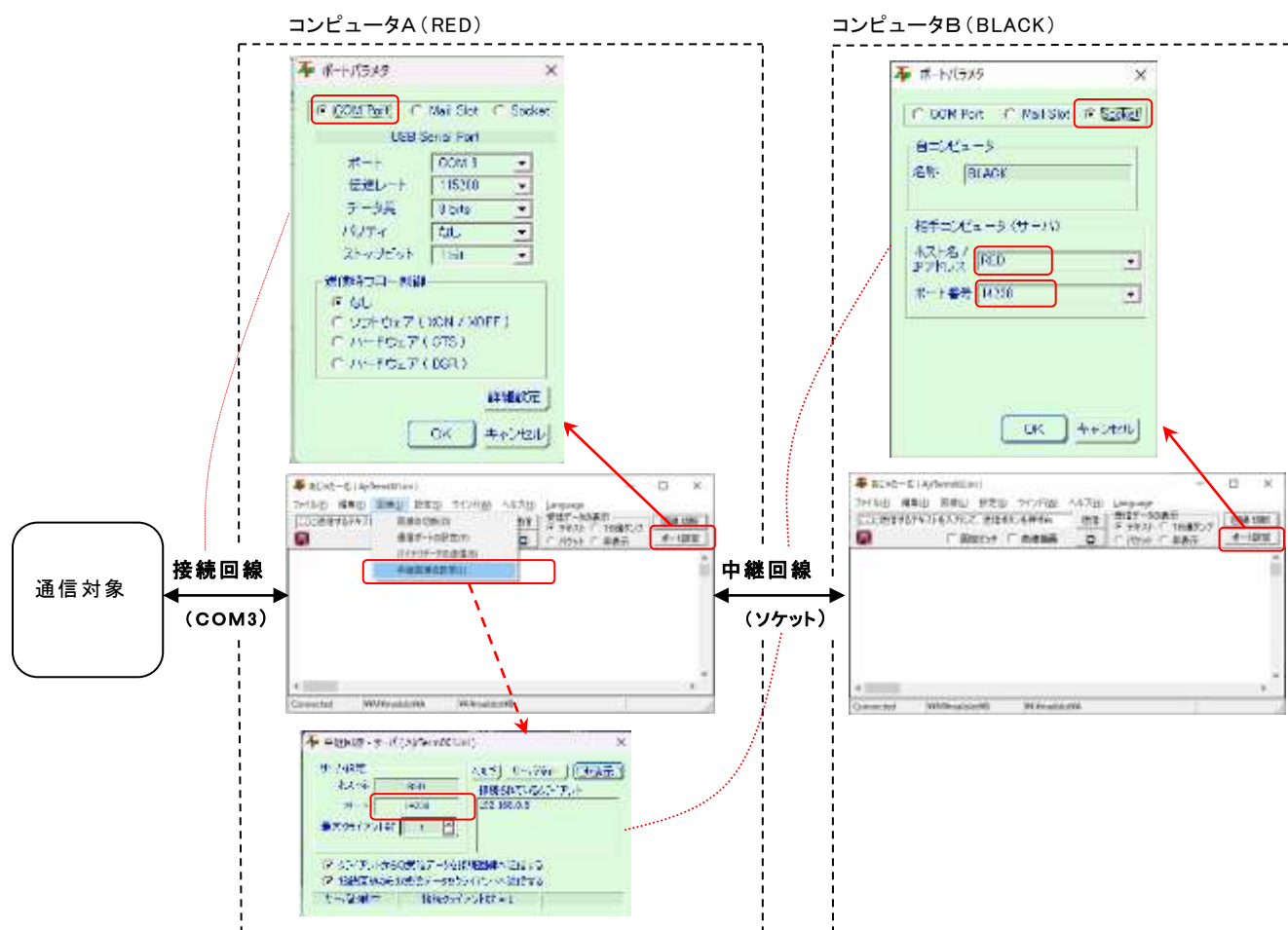


「クライアントからの受信データを接続回線に送信する」をチェックすると、中継先(上図の場合「あじやた〜むB」)から受信したデータを「通信対象」に送信します。(この受信データはウインドに表示されません)

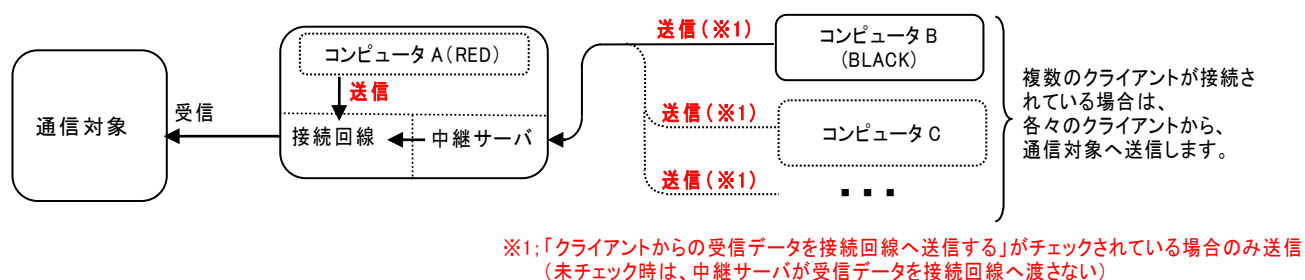
「接続回線からの受信データをクライアントに送信する」をチェックすると、通信対象から受信したデータをクライアント(上図の場合「あじやた〜むB」)に送信します。

※中継機能は、前バージョンではメールスロットを使用していたが、Windows11 バージョン 24H2 以降ではリモートメールスロットが既定で無効となった為、ソケット接続に変更しました。

例えば、次のようにポートを設定すると、コンピュータAにCOMポートで接続した通信対象を、コンピュータBから遠隔操作することができます。



「コンピュータA」と「コンピュータB」から各々送出されたデータは、いずれも「通信対象」で受信されます。



「通信対象」から送出されたデータは、「コンピュータA」と「コンピュータB」の双方で受信されます。

